

# 山 弓 連

令和3年第1号

令和3年5月 発行：山梨県弓道連盟

## 新年度スタート

令和3年3月17日に開催された山弓連定期総会において新役員が提案・承認され新しい体制にて新年度がスタートした。

新しい体制は以下のとおり。

役職名	氏名
名誉会長	中澤 利正
名誉会長	天野 裕
顧問	秋山 照美
顧問	古屋 俊彦
顧問	上野 捷利
会長	菊池 敏彦
副会長	深澤 武重
副会長	森岡 博文
副会長	中沢 友二
理事長	森岡 博文
副理事長	綿奈部 博史
理事 総務部長	芦澤 茂幸
理事 指導部長	古屋 浩元
理事 審査部長	西堀 泰弘
理事 競技部長	山下 弘行
理事 選手強化部長	五味 光仁
監事	高部 保延
監事	標 衣枝

太字は新任役員

なお総会に先立ち、役員を退任された上野氏市川氏に感謝状が贈呈された。



## コロナ禍のなか、

## より柔軟で創造的な取り組みを

山梨県弓道連盟会長 菊池敏彦

令和二年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出に始まり、コロナ禍に振り回された一年でした。飲食業や観光業等多くの業種が大きな痛手を受け、医療従事者には大変な負担がのしかかりました。オリンピック・パラリンピックも1年延期を強いられ、完全な形での実施は厳しい状況に追い込まれています。県弓道連盟の行事も昨年9月まではほとんど中止となり、10月以降については、感染予防に十分に配慮しながら、形態を変更しながらの開催となりました。

コロナ禍は、今まで疑いもせず実施していた社会の動きを根本から見直すきっかけともなりました。人口の都市部への集中に疑問を投げかけ、リモートワークやオンライン授業、就活の面接や大学入試の面接も多くがオンラインで実施されました。弓道の現場においても、高校生のビデオ審査（二段以下）の実施、大学弓道の全国大会がオンライン弓道大会として12月に実施され、3月には全弓連でも全国31地連の参加を得て、オンラインにより全国大会が開催され、本県も参加しました。5月の全日本弓道大会は通信大会として実施が予定されています。

新型コロナウイルス感染症収束の見通しが不透明な中、先行きの予定が立てづらい状況がしばらくは続くことが予想され、柔軟で創造的な対応がますます必要となってきています。今年度の中央審査会は受審者の動きを限定し実施されます。山梨県の場合は、関東南地域の指定となり、会場は中央道場か神奈川県立武道館となります。受審機会もそれぞれ3回に限定されます。全日本選手権大会も大幅に参加者数を縮小して実施されます。

そこで県連会員各位に提案です。組織運営に係

ること、大会・講習会・審査会に係ること、支部の在り方等々、役員任せではなく、主体的に考え、「私だったらこうしていきたい」といった「私」を主語とした提案を、内容の大小に関わらず、より積極的により創造的にしていただきたいと考えます。一人一人が主役です。いただいた提案を連盟の事業運営に積極的に取り上げ、時代に即した透明性の高い運営につながるよう、柔軟に対応していきたいと考えます。このことが、登録会員数の増加にもつながるものと考えます。

毎回の繰り返しになりますが、山梨県弓道連盟の活動は、各支部・各道場の日々の活動がもととなっています。引き続き、それぞれの支部・道場において活発で創意ある活動を期待します。

## 大会結果

### 全国オンライン弓道交流大会

令和3年3月21日(日)小瀬武道館弓道場  
全競技をオンライン上で実施することで、新たな弓道競技会の開催方法に関する知見を共有する目的で、全日本弓道連盟主催し全国から31地連が参加し開催された。

競技は各地連の道場で行われ、競技の様子はオンラインで接続し、同時進行でおこなわれた。

競技方法：3人立 各自4射2回にて上位8チームが決勝トーナメント進出。  
決勝トーナメントは4射1回のトーナメント戦

#### 【結果】

##### 山梨県チーム

内藤 良太 五段 (南アルパ)  
岡本 美鈴 五段 (甲府)  
山下 弘行 錬六 (山梨)

残念ながら決勝進出ならず。

優勝は愛媛県チーム。予選から決勝まで各4射で10中を下回ることなく安定した中りを出した。



8地連が同時行射、的中状況も同時共有

### ねんりんびっく大会 県予選

令和3年4月11日(日)小瀬武道館弓道場

10月31日~11月3日 岐阜県にて開催される、第33回全国健康福祉祭ぎふ弓道大会の代表選手選考予選会が開催され、以下の選手が決定された。

区分	氏名	称号・段位	支部名
選手兼監督	兩宮 哲	五段	笛吹
選手	森岡 博文	錬士 六段	甲州
選手	石倉 今光	初段	都留
選手	佐野 好子	参段	都留
選手	菊島 喜代子	五段	笛吹
補員			
補員			

# 全日本勤労者弓道大会 県予選

令和3年4月11日(日)小瀬武道館弓道場

令和3年6月5日～6日 栃木県宇都宮市にて開催される、標記大会の代表チーム選考予選会が開催され、以下のとおり代表チームが決定された。

チーム名	選手名	合計的中	
横河電機A	五味 峻太郎	10中	
	興石 大樹		
	鮫島 誠一		
小林商事	田中 友裕	9中	
	桑原 良		
	小林 裕一郎		
ファナックA	渡辺 亮	12中	県代表
	曾根 豊		
	鍵和田 哲史		
横河電機B	大和田 輝哉	4中	
	石田 大紀		
	綿奈部 博史		

参加申込人数 22名

五段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果		
優勝	小林 好雄	大月	五段	6	×	×	○
2位	佐々木 重雄	大月	五段	6	×	×	×
3位	大和田 幸子	南アルプス	五段	6	×	×	×

参加申込人数 31名

称号の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果		
優勝	市川 明	笛吹	錬士五段	7	○	○	○
2位	山下 弘行	山梨	錬士六段	7	○	○	×
3位	中村 昌夫	山梨	錬士六段	7	○	×	

## 段位別 兼 全日本・関東選抜 一次予選

令和3年4月18日(日)小瀬武道館弓道場

昨年は緊急事態宣言により開催できなかったが、本年2年ぶりの開催となった。ただ、感染予防のため午前中に参段以下および四段の部、午後から五段および称号者の部とした2部制での開催となった。結果は以下のとおり。

射数 4矢2回 計8射

参加申込人数 23名

参段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果		
優勝	小澤 幸男	富士吉田	参段	5	○		
2位	栞原 勇喜	富士吉田	式段	5	×		
3位	西野 雄太	南アルプス	参段	5	×		

参加申込人数 16名

四段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果		
優勝	村松 真弓	笛吹	四段	5			
2位	秋山 杏梨	南アルプス	四段	4			
3位	山本 栄子	北杜	四段	4			



四段の部入賞者

参段以下の部入賞者



称号の部入賞者

五段の部入賞者

# 第72回全日本弓道大会(通信大会)

令和3年5月2日(日)小瀬武道館弓道場  
例年京都で行われていた大会が、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた地連内における通信大会として開催されました。

大会実施要領は、

種別：有段者、錬士、教士、範士の部

競技方法：演武1手1回 皆中者による射詰

射詰3射目以降は24cm星的とし、  
上限を10本とする。

結果は以下のとおり。

参加者数：33名

演武皆中者

種別	氏名	称号・段位	支部	決勝射詰的中数
有段者の部 (19名)	渡辺 裕介	五段	甲府	2
	村松 真弓	四段	笛吹	2
	内藤 良太	五段	南アルプス	1
	桑原 良	五段	富士吉田	1
	渡邊 啓和	三段	富士吉田	0
錬士の部 (10名)	鮫島 誠一	錬士六段	甲府	1
	酒井 紀夫	錬士五段	都留	1
	中澤 国弘	錬士六段	甲府	0
教士の部 (4名)	西堀 泰弘	教士六段	甲府	1
	綿奈部 博史	教士六段	甲府	1

( )内は参加者数



なお総合成績は、全国からの結果が出そろったところで射詰本数により表彰されます。(7月頃)

## 『弓道教室』

～初めての弓道 もう一度弓道～

4月10日から6月26日の予定で弓道教室が  
開催されています。今年は土曜日、午前中の開催。  
公認指導員の資格を持った先生方を講師に、現在  
30名の方が受講中です。



### 編集後記

コロナの状況も不透明な中ですが、新年度がスタートしました。皆様のご協力を頂きながら、現在できることを一つひとつこなして行きたいと思えます。

koho39ren@kyudo-yamanashi.com (綿奈部)